

【全体概要】

本県のいちご栽培では、冬季の積雪・寡日照条件によって、草勢低下や生育遅延による収量低下等、出荷量の変動が課題となっている。そこで、クラウン加温設備等の導入が進みつつある県内モデル産地で、ハウスの施設内環境モニタリングと時期別生育データ等との関連を分析し、環境制御の改善方法を検討する。あわせて、熟練農業者の管理手法をモニタリングし、技術の「見える化」を図り、新規就農者等への早期の技術継承を図る。

新品種・新技術等の概要

- 1 品種 越後姫
- 2 新技術
 - (1) いちご「越後姫」の促成栽培におけるクラウン加温の効果
 - (2) いちご「越後姫」におけるCO₂の日中低濃度施用による収量向上
 - (3) 施設内環境(温度、湿度、炭酸ガス濃度、日射)モニタリング

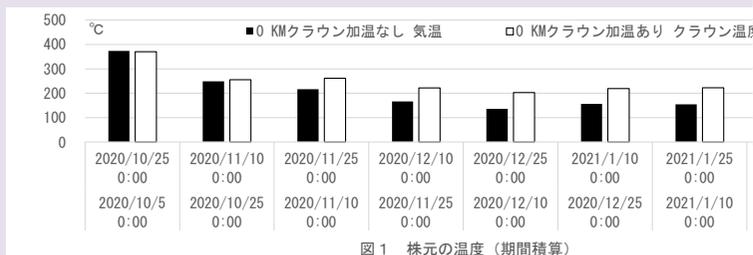


図1 株元の温度(期間積算)

調査データ例

「越後姫」高設栽培
モニタリングと環境制御管理



令和4年3月
新潟県農林水産部経営普及課

技術マニュアル

主な取組内容

- 1 施設内環境モニタリング現地実証
 - 2地区のモデル産地で現地実証ほを7か所設置し、新技術の実証、施設内環境モニタリングと生育調査等を実施した。
- 2 検討会の開催

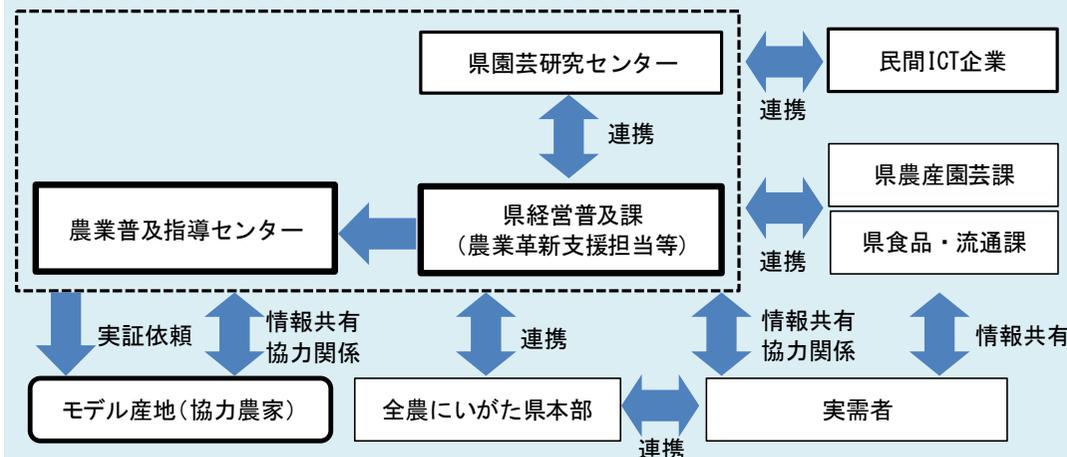
実証ほ設置検討会・中間検討会・成績検討会・現地研修会を開催し、調査結果等の分析を行い、最適な環境制御方法を検討した。
- 3 技術マニュアルの作成検討

技術マニュアル作成のため関係機関で検討した。
- 4 熟練農業者の管理手法モニタリングにより、技術の「見える化」を行い、新規就農者等への技術継承を図った。



現地研修会

実施体制図



実績と今後の展開

- 1 実績

施設内環境モニタリングと実証データの分析検討結果から、クラウン加温の有効性とCO₂の効率的施用方法を整理し、技術マニュアルを作成した。

実証モデル産地では、生産量が過去3カ年平均比101~115%(5月末実績)となった。
- 2 今後の展開

環境データと時期別生育データ等との関連づけ分析を更に行い、より最適な環境制御方法を検討することにより、新規就農者等への早期の技術継承を加速させ、より安定した収量と品質の確保を図っていく。



モニタリング機器と生育調査